

会員募集

会員を募集しています。わたしたちの活動を理解していただき、ご協力いただける方、一緒にアジアでのボランティアをはじめませんか。

- | | | |
|---------|------------|--------------|
| (1) 入会金 | 正会員 1万円 | 団体正会員 3万円 |
| | 活動会員 — | 団体活動会員 3万円 |
| | 賛助会員 — | 団体賛助会員 — |
| (2) 年会費 | 正会員 1万円 | 団体正会員 3万円 |
| | 活動会員 5千円 | 団体活動会員 3万円 |
| | 賛助会員 1口5千円 | 団体賛助会員 1口5千円 |

振り込み先

- ・名 義「特定非営利活動法人 T・M良薬センター」
- ・銀 行「群馬銀行本店 普通 2134150」
- ・郵便局「00160-5-591781」



「優しさで地球をつつもう」

ご寄付を集めています



表紙写真／ネパール・カトマンズ周辺の様子（2015，6）

印刷協力／群馬県沼田幼稚園（田代浩敬園長）

ロンゾークラブ 24



平成26年度報告・平成27年度計画・ネパール調査報告



会 報 第24号

平成27年 9月11日
T・M良薬センター事務局
371-0852 群馬県
前橋市総社町総社1024
Tel&Fax：027-254-2325
E-mail：office@tmrc.jp
<http://www.tmrc.jp>

平成26年度事業報告

平成26年4月1日～平成27年3月31日

◇教育支援

- ミャンマー、「マイトリースクール」を運営した。
- 「ほほえみ図書館」事業としてスリランカ、ウババズラ小学校に図書を寄贈した（神奈川県葉山郡本圓寺様）。
- ネパール、パタンの識字学塾「リピタプグティ」を運営した。
- カンボジア、シェムリアップ「クラタスクール」に文房具を寄贈した（イオン群馬高崎店様）。

◇災害復興支援

- 気仙沼公民館で神田外語大学留学生ら協力のもと、「世界の料理教室」を開催し、被災地の親子と交流した（横須賀西ロータリークラブ様）。
- 山田町、南三陸町、石巻市等を再訪し、現地の方々と交流、義援金を届けた。
- 原発事故により外出制限がある地域の園児を、規制外の公園などに連れて遊ばせる、福島県郡山市の「子どもバス」活動に助成金を送った。

◇生活支援

- 「四方僧伽」と共同し、カンボジアに米銀行を設立した。
- カンボジア・シェムリアップに井戸を寄贈した（群馬県獣医師有志一同様、U&M Family様、横浜戸塚区妙法寺様）。

◇職業訓練事業

- カンボジア北部で小物入れを作成し、購入した。（山梨県身延町松司軒仏具店様）
- ミャンマー南部で翡翠製品を作成し、購入した。

◇リサイクル事業

- 中古医療機器、自動車部品、家電製品等をバングラデシュに輸送した。（関東脳神経外科病院様、千葉県MTMジャパン様）

◇国内イベント出展

- | | |
|--------|----------------------|
| 4月29日 | 横須賀市大明寺「チャリティーコンサート」 |
| 5月5日 | 藤岡市「こどもフェスティバル」 |
| 9月8日 | くまがや館 チャリティ展示会 |
| 10月26日 | 堀之内 妙法寺 「いのり題目の日」 |
| 12月14日 | みどり市岩宿の里バザー |
| 通年不定期 | 熊谷市内 チャリティーバザー |



平成 26 年度会計報告

収入合計 3,732,880 円

内訳	①前期繰越金	1,167,182 円
	②会費収入	405,000 円
	③寄付金	2,100,611 円
	④雑収入	60,087 円

支出合計 2,255,176 円 ① + ② + ③

内訳	①事業費	950,922 円
	海外事務所経費	156,000 円
	教育支援事業	49,024 円
	災害支援事業	280,000 円
	生活支援事業	350,000 円
	職業訓練事業	62,648 円
	リサイクル事業	53,250 円
	②管理費	1,192,854 円
	事務人件費	600,000 円
	熊谷支部助成金	50,000 円
	通信運搬費	51,603 円
	消耗品費	12,354 円
	旅費交通費	81,000 円
	水道光熱費	184,218 円
	什器備品費	136,979 円
	会議費	76,700 円
	③その他の支出	111,400 円
	諸会費	33,000 円
	広告掲載料	40,000 円
	新聞購読料	38,400 円

次期繰越収支差額 1,477,704 円

平成 27 年度事業計画

●災害支援事業

- ネパール、カトマンズ地震の復興支援事業
6月24日～7月1日、現地調査実施。被害を受けたBanepaの孤児院Metta Centerの復興支援計画をスタートする。
- 日本国内外の災害に対する支援事業
- 福島原発事故関連の復興支援（子どもバス活動に協力）

●生活支援事業

- 井戸を寄贈する活動（継続）
立正同志会様、正蓮寺様他
- 小型ソーラーパネルを電気がない民家や診療所に設置する活動（継続）（1基1万円にて協力者を募集中）
- 職業訓練事業（継続）
仕事がない貧困地域で手工芸品を作成する。

●教育支援事業

- ミャンマーマイトリースクールの維持・運営
- カンボジアの各校のアフターケア、新規建設
- 「ほほえみ図書館」事業の継続
- 「リピタプグティ」維持・運営
- その他

●医療支援事業

- 「アジアの保健室サポート」（継続）（年間 1 万円、アジアの保健室に医薬品等を支援）

●スタディツアー

- カンボジア、シェムリアップへ。10月31日から11月4日
- ネパール、カトマンズへ。2月

●その他

- ・展示会やチャリティイベントに出展する。

ネパール現地調査報告

2015 年 4 月 25 日にネパールで発生した大地震におけるカトマンズおよび周辺地域の被害や現状を、6 月 24 日から 7 月 1 日の日程で調査した。



▼市街地では多くの建築物が全壊、半壊し、またヒビが入り今後どうなるかが不安となる状態が日常となっている。また、住民の生活水として使用されていた井戸も多くの被害を受けている。車道では隆起した部分、また液状化の影響とみられる土が表面上に出ている。国際 NGO のテントが多く見られ、避難している人々に飲食物などの支援物資が配給されている模様。

▼ハリシディナ地区：現在判明しているだけで 19 人の方が被災して亡くなっている。建物の多くは崩れ、人が住めない状況になっている。人口が少なく、路地などは瓦礫や土で埋め尽くされていた。コンクリート建ての家は損壊が激しくないが、レンガ建ての家屋はほとんどが崩れていた。

▼パタン旧王宮近辺：旧王宮自体も地震による損壊が多くあり、王宮入り口付近の、塔や祠へと続く階段の両脇の神獣は地面に落ちていた。周辺の家屋はレンガ建てのものが多く、

全壊は免れているものの、二階部分が損壊していたり、全体が傾いてしまっているなどといった事情により多くの住民が家を離れ、テントで野宿生活をしている。

▼ゴールデン temple 周辺：繁華街では現在も多くの人暮らし



ていたが、ほとんどの家屋にはヒビが入り、いつ崩れてもおかしくない状況にあった。マンチエドナラートという伝統的な祭りに使用するラト（山車）が道路に放置されていた。毎年雨期の直前に開催されるが、未だ中断されている。ゴールデン temple の外壁も崩れていた。また、町の寺院付近に点在する井戸は住民の生活用水に使われているが、その多くは水がとだえて、損壊している、といった状況であった。



▼マハ・バハール（寺院）周辺：内部にある塔は 80 年ほど前に起きた地震により上半分が建て直されているが、今回の地震で再度ヒビや損壊が生じ、現在は鉄棒で支えられ保護されている。同寺院周辺広場にはテントが張れ避難した人々が生活している。



▼バクタプール地区：カトマンズから車で 1 時間ほどの距離にある山地。多くの建物は損壊。途中の道路は液状化の痕が見られ、大きく隆起していた。

▼METTA CENTER：15 年前に設立されたネパール仏教孤児院。この度の地震で両親を亡くした震災孤児 3 人を含む 17 人が生活している。8 歳からの子供を育てていて、公立の学校に通わせている。施設に多くの被害を受けていて、今後建物の建て直しが検討されている。



◎同センターの運営支援を今後の事業活動として提案いたします。